

東京都北区中里貝塚 保存活用計画策定委員会 第1回会議 議事要旨

日時：平成30年1月19日（金）10:00～12:00

場所：北区飛鳥山博物館 講堂

【出席者】

<委員>

阿部 芳郎 委員長 石川 日出志 副委員長
吉村 晶子 委員 山口 宗彦 委員
山田 和夫 委員 堀江 正郎 委員 佐々木 富美子 委員

<オブザーバー>

山下 信一郎 文化庁文化財部記念物課史跡部門 文化財調査官
伊藤 敏行 東京都教育庁地域教育支援部管理課統括課長代理

<区関係理事者>

雲出 広報課長 馬場 観光振興担当副参事 寺田 都市計画課長（代理出席：杉戸課長補佐）
佐藤 土木政策課長 佐野 道路公園課長

<事務局>

田草川 教育振興部長 山本 飛鳥山博物館長 鈴木 事業係長
中島 学芸員 牛山 学芸員 安武 学芸員 田代主任主事

【次第】

1. 開会
2. 教育委員会挨拶
3. 出席者紹介
4. 議題
 - (1) 委員長選任
 - (2) 計画策定の目的
 - これまでの経緯
 - 関連計画等
 - 地域要望等
 - (3) 「総括報告書」について
 - (4) 史跡の現状と課題
5. 今後の予定
 - 主なスケジュール
 - 次回委員会
6. その他
7. 閉会

【配付資料一覧】

1. 東京都北区中里貝塚保存活用計画策定委員会 第1回会議次第
2. 委員会席次
3. 中里貝塚保存活用計画策定委員会 名簿
4. 議事関係
 - 資料1 国史跡としての歩み：履歴表
 - 資料2 関連計画・関連法規の概要
 - 資料3 総括報告書：目次
 - 資料4 史跡指定地の現況・他史跡の整備事例
 - 資料5 今後のスケジュール
 - 参考資料1 北区シティプロモーション方針「住めば、北区東京。」
 - 参考資料2 滝野川東地域まちづくり方針図（『北区都市計画マスタープラン2010』より抜粋）
 - 参考資料3 中里貝塚の推定貝層分布範囲（『総括報告書』より抜粋）

【傍聴人】

傍聴人 1 名

【議事要旨】

1. 開会
2. 教育委員会挨拶
3. 出席者紹介
4. 議題

<議題（1）委員長選任>

※学識経験者であり、中里貝塚の研究に携わっている明治大学（考古学）の阿部芳郎委員を委員長に、同じく明治大学（考古学）の石川日出志委員を副委員長に選任。

<議題（2）計画策定の目的>

○事務局および区 ー資料説明ー

○委員長

これまでの史跡の活用状況、特に学校教育の中で史跡を盛り込んだものはあるか？

○事務局

現地を訪れての見学コースは実施していないが、小学生による博物館見学の際に、貝層展示の解説を

行っている。

○委員

保育園・幼稚園は、よくピクニックで訪れている。地元の高齢者の散歩コースとして定着している。また、町会の活動の場として公園を使用している。

○委員

小学生～中学生の中里貝塚に対する認知度が低いように思う。

○事務局

現在は、希望する学校のみ、団体受入を実施している。

○委員長

他の例では遠足など学校行事としている遺跡もある。また、小学生対象の歴史系の副読本作成の事例もある。

○委員

最寄り駅の「上中里駅」に、史跡へと誘導する看板や史跡案内の看板がない。史跡ガイドツアーを実施したいので、博物館スタートで近隣の史跡を巡る「史跡散策コース」を設定してはどうか？また、ウォーキング目的の人にとっては、現地に説明看板があるだけでもいいかもしれないが、可能であれば、現地での遺構展示を検討してほしい。

○委員

現状では、子供たちの中で中里貝塚を知っている割合は低いので、教育活動に絡めて史跡を学べるようにしていきたい。

○委員

中里貝塚は当時のウォーターフロントに位置し、台地のほうには現在、博物館などがあるので、そういった地形の特徴を感じられるような整備活用ができると思う。原っぱのまま手をつけずに見守るという方向性と、来訪者に向けて現地展示をするという両者の考え方がある。

○委員

現時点で北区が作成している「シティプロモーション方針」や「観光プラン」の中では、史跡の活用について明確に盛り込めていないので、今回の保存活用計画策定後、各種関連計画の改定時には、本計画に基づいて史跡の活用を盛り込んでもらえると良いと思う。

<議題（3）「総括報告書」について>

※事務局から、平成 28～29 年度に作成を進めている「総括報告書」について説明。会議の場にて、1 月時点の報告書原稿を回覧。

<議題（４）史跡の現状と課題>

○事務局 一資料説明一

○委員長

加曾利貝塚では、貝塚本体に加えて外部に展開する住居跡も含めて保存活用している。中里貝塚も、丸木舟が出土した地点も念頭において活用を検討していければと思う。

○委員

理想を言うと、加曾利貝塚のような展示ができると、迫力も感じられるので、とても良いと思う。

○委員

復元整備となると、かなり費用も掛かってくるので、事前に他史跡等の整備状況や利用状況を調べて、資料館の入館者数などのデータも合わせて「費用対効果」を分析して、どんな整備が中里貝塚に適しているか、検討していくと良いと思う。

○委員

他史跡では、計画策定の際に認知度調査やアンケート調査を実施して、データ分析した例がある。データ収集→現状把握→課題整理をして、それらを取りまとめた資料をもとに、次回委員会で議論できればと思う。

5. 今後の予定

※事務局から、次回委員会の日程と次年度のおおまかなスケジュールについて説明。

6. その他

7. 閉会

以上